



2021年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年10月15日

上場会社名 株式会社Gunosy 上場取引所 東
 コード番号 6047 URL https://gunosy.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹谷 祐哉
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 最高財務責任者 (氏名) 間庭 裕喜 (TEL) (03) 6455 - 4560
 四半期報告書提出予定日 2020年10月15日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年5月期第1四半期の連結業績（2020年6月1日～2020年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年5月期第1四半期	2,208	△43.1	160	△31.1	156	△28.3	79	△59.3
2020年5月期第1四半期	3,879	4.8	232	△70.7	218	△72.5	195	△64.1

(注) 包括利益 2021年5月期第1四半期 84百万円 (△55.4%) 2020年5月期第1四半期 188百万円 (△65.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年5月期第1四半期	3.39	3.34
2020年5月期第1四半期	8.28	8.10

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年5月期第1四半期	12,681	11,043	86.1
2020年5月期	12,762	10,921	84.8

(参考) 自己資本 2021年5月期第1四半期 10,920百万円 2020年5月期 10,815百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年5月期	ー	0.00	ー	0.00	0.00
2021年5月期	ー	ー	ー	ー	ー
2021年5月期（予想）	ー	ー	ー	ー	ー

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
 2. 2021年5月期の配当予測につきましては、現在未定であります。

3. 2021年5月期の連結業績予想（2020年6月1日～2021年5月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	4,652	△38.7	242	54.3	232	76.3	123	△3.7	5.24
	～4,937	～△34.9	～394	～151.3	～384	～191.6	～228	～78.9	～9.74
通期	10,297	△26.4	1,030	19.9	1,011	20.6	615	59.3	26.22
	～11,297	～△19.2	～1,414	～64.5	～1,395	～66.3	～882	～128.2	～37.55

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無
 2. 2021年5月期の連結業績予想につきましては、レンジ形式により開示しております。詳細は、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年5月期1Q	23,922,774株	2020年5月期	23,877,774株
② 期末自己株式数	2021年5月期1Q	428,817株	2020年5月期	435,217株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年5月期1Q	23,462,192株	2020年5月期1Q	23,642,545株

（注）自己株式数については、株式付与ESOP信託口が所有する当社株式（2020年5月期：142,417株、2021年5月期1Q：136,017株）を含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループをとりまく経営環境につきましては、国内におけるスマートフォンの保有者の割合が2019年に67.6%と前年比2.9ポイント増加するなど、スマートフォンは引き続き普及拡大しており（総務省調べ）、また、2019年の広告費は6兆9,381億円と8年連続で成長を続けております。とりわけインターネット広告費につきましては前年比119.7%の2兆1,048億円と、広告費全体の成長を牽引する成長となりました（株式会社電通調べ）。一方で、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う一部顧客の広告自粛及び広告予算縮小の発生等に伴う景況悪化は継続しており、2020年1月～6月では企業の6割超がインターネット広告予算を減少させております（株式会社サイバー・コミュニケーションズ調べ）。

このような状況の下、当社グループは、当第1四半期連結会計期間において、既存のメディア事業においては中長期的な収益性の強化を最大の課題とし、当社の品質目線に適合しない、内容と相対して煽情的な言い回しや過度な肌露出のある記事等の露出の大幅削減と、広告審査の厳格化及びアプリ「LUCRA（ルクラ）」のリニューアルなど、メディア価値向上のための施策を重点的に行ってまいりました。また、新規事業においては、インドで若者向けキャッシュレス決済・少額デジタル融資サービスを提供するGaragePreneurs Internet Pvt. Ltd.への追加出資や、「オトクル」でのEC事業の検証など、社内/社外への成長機会への投資を行ってまいりました。

収益面に関しては、市場環境の悪化の影響及びメディア価値向上施策による広告承認率の減少の影響を受け、当第1四半期連結累計期間において、Gunosy Adsに係る売上高を1,267百万円計上いたしました。また、特にアドネットワークに係る売上高においては広告承認率の減少の影響を大きく受け、当第1四半期連結累計期間で371百万円を計上いたしました。

費用面に関しては、財務面の強化のためコスト削減の推進を実行し、広告宣伝費153百万円（前年同四半期比81.4%減）を計上するほか、アドネットワークに係る売上高の減少に伴い媒体費が減少いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高2,208百万円（前年同四半期比43.1%減）、経常利益156百万円（前年同四半期比28.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益79百万円（前年同四半期比59.3%減）となりました。

なお、「グノシー」及び「ニュースパス」「LUCRA（ルクラ）」合計の国内累計ダウンロード（以下、「DL」という）数は当第1四半期連結会計期間末において5,931万DLとなり、前連結会計年度末比で144万DLの増加となりました。

当社グループには、メディア事業以外の重要なセグメントが無いため、セグメント情報に関連付けた記載を行っておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べて80百万円減少し、12,681百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加（前連結会計年度末比51百万円の増加）、売掛金の減少（前連結会計年度末比179百万円の減少）、流動資産のその他の減少（前連結会計年度末比220百万円の減少）、投資有価証券の増加（前連結会計年度末比324百万円の増加）、繰延税金資産の減少（前連結会計年度末比18百万円の減少）であります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べて201百万円減少し、1,638百万円となりました。主な要因は、前受金の減少（前連結会計年度末比180百万円の減少）、流動負債のその他の減少（前連結会計年度末比23百万円の減少）であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて121百万円増加し、11,043百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加（前連結会計年度末比80百万円の増加）であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年7月14日に公表いたしました2021年5月期通期の連結業績予想に変更はありません。業績予想の前提についての、当第1四半期連結累計期間における状況と、今後の見込みにつきましては以下のとおりであります。

当第1四半期連結累計期間におきましては、1DL当たりの獲得費用、新規DL数について、それぞれ順調に推移いたしました。

売上高につきましては、市場環境の悪化の影響及びメディア価値向上施策による広告承認率の減少の影響を受けており、インターネット広告市場の景況悪化は足元で底打ちの傾向が見られるものの、今後の推移については引き続き慎重な見極めが必要な状況となっております。

費用につきましては、財務面強化のためのコスト削減を着実に実行し、広告宣伝費153百万円（前年同四半期比81.4%減）など、販売管理費が減少いたしました。また、アドネットワークに係る売上高の減少を受け、アドネットワークに係る原価が減少いたしました。

今後につきましては、引き続き既存事業においては、収益性向上のための施策を進めていくとともに、市況の悪化の影響が小さい業種などを中心に、広告主の再拡充を目指してまいります。一方で、コスト面については削減推進の方針は変えず、堅調に推移する見込みです。新規事業においては、引き続き社内/社外の成長機会への積極的な投資を行ってまいります。

なお、業績予想につきましては、広告市場の景況感を見極めながら計画の策定を行っております。2021年5月期の業績予想に関しましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により引き起こされた足元の広告市況の悪化は、短期的には回復せず、年間を通して継続するという見込のもと作成しております。このような状況において、当社は収益性改善に向けて各種施策を実施してまいります。その確度については不確実性が高いものも含まれ、その成否により数値が大きく上下する可能性があるため、詳細な数値を算出することが困難であると考えております。したがって、レンジ形式による開示とさせていただきます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,075	9,127
売掛金	1,027	847
その他	573	352
流動資産合計	10,676	10,328
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	217	212
その他(純額)	65	60
有形固定資産合計	282	273
無形固定資産		
のれん	151	132
その他	43	46
無形固定資産合計	195	179
投資その他の資産		
投資有価証券	1,099	1,424
繰延税金資産	130	112
その他	376	364
投資その他の資産合計	1,607	1,901
固定資産合計	2,085	2,353
資産合計	12,762	12,681
負債の部		
流動負債		
買掛金	739	743
未払金	224	230
未払法人税等	77	69
前受金	583	402
ポイント引当金	12	11
株式給付引当金	9	6
その他	180	156
流動負債合計	1,827	1,619
固定負債		
株式給付引当金	12	13
その他	0	4
固定負債合計	12	18
負債合計	1,840	1,638
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,077	4,088
資本剰余金	4,077	4,088
利益剰余金	3,318	3,398
自己株式	△653	△646
株主資本合計	10,819	10,928
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2	2
為替換算調整勘定	△0	△10
その他の包括利益累計額合計	△3	△8
新株予約権	89	97
非支配株主持分	16	25
純資産合計	10,921	11,043
負債純資産合計	12,762	12,681

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2020年8月31日)
売上高	3,879	2,208
売上原価	2,157	1,310
売上総利益	1,721	898
販売費及び一般管理費	1,489	738
営業利益	232	160
営業外収益		
受取利息	0	0
為替差益	—	0
助成金収入	0	—
還付加算金	—	0
その他	0	0
営業外収益合計	0	1
営業外費用		
支払利息	—	0
為替差損	14	—
株式交付費	0	0
消費税等差額	0	1
支払手数料	—	3
営業外費用合計	15	4
経常利益	218	156
特別利益		
関係会社株式売却益	90	—
新株予約権戻入益	0	—
特別利益合計	91	—
税金等調整前四半期純利益	309	156
法人税、住民税及び事業税	93	45
法人税等調整額	27	22
法人税等合計	120	68
四半期純利益	188	88
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△7	8
親会社株主に帰属する四半期純利益	195	79

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2020年8月31日)
四半期純利益	188	88
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	5
為替換算調整勘定	1	△9
その他の包括利益合計	△0	△4
四半期包括利益	188	84
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	195	75
非支配株主に係る四半期包括利益	△7	8

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年6月1日 至 2019年8月31日)

当社グループには、メディア事業以外の重要なセグメントがないため、セグメント情報の記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年6月1日 至 2020年8月31日)

当社グループには、メディア事業以外の重要なセグメントがないため、セグメント情報の記載を省略しております。